

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	別府溝部学園短期大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ベップミソベガクエンタンキダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	幼児教育学科
	担当教職員名・役職	七森浩司・教授、山内健太郎・講師
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	17
	受入企業等数	17
	受入企業等名	明野こども園・みなみ保育園・東幼稚園・さくらんぼ保育園・今津幼稚園・津守あすなろ保育園・東海幼稚園・ひまわり幼稚園・スマイスセゾン保育園・つくしんぼ保育園・さくら保育園・東山幼稚園・かるがも保育園・鶴崎同光園・ゆりかご保育園・やまなみ保育園・カトリック海の星幼稚園
	インターンシップの分類	5.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	認定こども園・幼稚園・保育所等において、こどもと遊んだり、排泄・食事などの支援等、保育補助業務を行う。また、こどもが降園したあとの環境整備などを行う。インターンシップ先によっては日誌の作成などを行う。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次～2年次(主として1年次)
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1年生前期から2年生後期の間の長期休暇を利用し受講している。但し、教育実習や保育実習との兼ね合いから、インターンシップ受講生のほとんどが1年生の夏季休暇を利用し受講する。これまで得てきた知識や技術が現場といかなる関連をもっているかを職場体験を通して考える。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	第1回目の授業で、インターンシップの趣旨や目的の理解を図り、インターンシップ先の選定を行う。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	職業体験と自らの学びがどのようにつながったのかを振り返り、自らの学びを共通理解するために、インターンシップ受講生全員で報告会を行う。また、各自インターンシップで学んだことをレポートにまとめ提出する。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップを担当する教職員が認定こども園・幼稚園・保育所などを訪問し、学生と面談を行う。また、認定こども園・幼稚園・保育所などの担当者から学生についての聞き取り調査を行い、学生指導を行う。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	インターンシップ受講生同士で報告会を行う。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	5日間の職業体験後、職業体験で学んだことをレポートにまとめ提出することで、インターンシップ後の変容について把握する。また、インターンシップ受講生同士の報告会を通して、学生の自己理解を促す。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	

⑤	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	1コマの事前指導・1コマの事後指導(インターンシップ報告会)・5日間のインターンシップ
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	希望する認定こども園・幼稚園・保育所のうち1園において5日間のインターンシップを行う。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義や目的を受入先に御理解いただいた上で、そのニーズにも応えられるようにするため、プログラムの設計の段階から参画いただいている。また、インターンシップ中も受入先担当者と本学教職員との面談の場を設け、受入に係る負担感の軽減に努めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	シラバス・インターンシップのページ
問い合わせ先	大学等名	別府溝部学園短期大学
	担当部署名	幼児教育学科
	担当者役職名	教授
	担当者氏名	七森浩司
	電話番号	0977-66-0224
	メールアドレス	knamamori@bm.mizobe.ac.jp